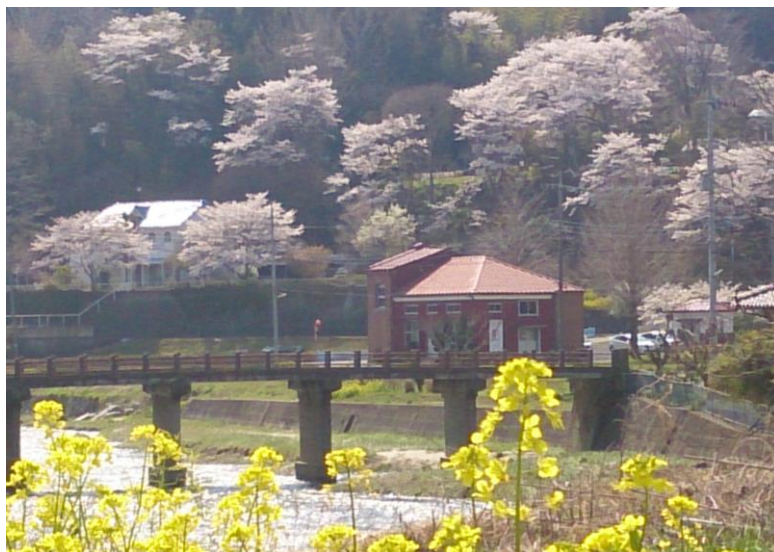


# エコアクション 21

## 環境活動レポート

(報告期間:平成25年8月～平成26年7月)



2014/4/9 常陸太田市西河内下町 旧町屋変電所

発行日 平成 26 年 9 月 10 日

改訂日 平成 26 年 12 月 17 日

**株式会社根本工務所**

## 【 目 次 】

表 紙	1
目 次	2
1・事業概要	3
1) 事業者名及び代表者	3
2) 所在地	3
3) 法人設立年月日	3
4) 資本金	3
5) 環境管理責任者及び連絡先	3
6) 事業活動の内容及び許可内容	3
7) 摘要事業範囲	3
8) 事業規模	3
2・環境活動実施体制	4
3・環境方針	5
4・環境目標とその実績	6
5・主要な環境活動計画の内容	7～8
6・環境活動の取組結果の評価	9～10
7・次年度の目標と取組み内容	11
8・環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	12
9・代表者による全体の評価と見直し	12

## 1. 事業概要

### 1) 事業者名及び代表者名

株式会社 根本工務所  
代表取締役 根本 敬久

### 2) 所在地

〒311-0311  
茨城県 常陸太田市町屋町 1487

### 3) 法人設立年月日

昭和27年10月25日

### 4) 資本金

2,750万円

### 5) 環境管理責任者及び連絡先

エコアクション21管理責任者： 根本 茂子  
TEL : 0294-78-0036 FAX : 0294-78-0037  
E-mail : nemotoengineer@hkg.odn.ne.jp

### 6) 事業活動の内容及び許可内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、水道施設工事業、管工事業

#### 許可の内容

\* 建設業許可 茨城県知事(特-23)第1199号

\* 産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号 00801105895

許可の年月日 平成26年2月17日

許可の有効期限 平成31年1月4日

事業の範囲: 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、  
がれき類。以上3種類

☆業としての実績はありません。

自動車登録番号	初度登録	車体の形状	最大積載量	使用者
水戸 100 さ 6389	平成 14 年 9 月	ダンプ	3850Kg	(株)根本工務所
水戸 430 つ 358	平成 24 年 1 月	ダンプ	3000Kg	(株)根本工務所
水戸 400 て 3550	平成 22 年 9 月	ダンプ	3000kg	(株)根本工務所
水戸 400 さ 912	平成 11 年 6 月	ダンプ	2000kg	(株)根本工務所
水戸 11 ひ 8966	平成 2 年 11 月	キャブオーバ	3000kg	(株)根本工務所

### 7) 対象範囲事業所

本社事務所	茨城県常陸太田市 町屋町 1947
倉庫資材置き場(無人)	茨城県常陸太田市 町屋町 2364-3

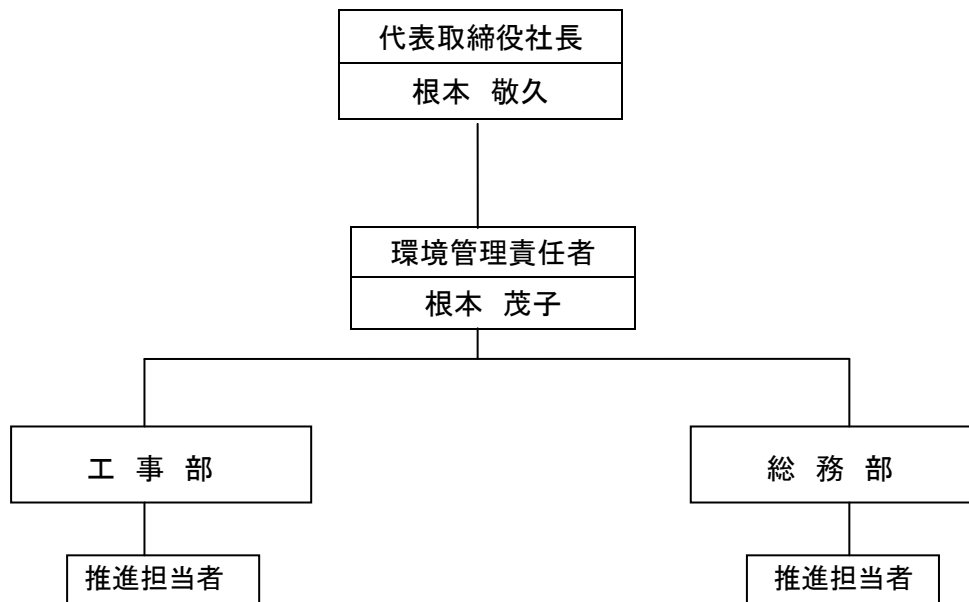
### 8) 事業規模

項目	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
売上高	百万円	268	305	275
従業員数	人	10	12	12
事務所床面積	m <sup>2</sup>	219.66	219.66	219.66
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	183.41	183.41	183.41

\* 年度=8月1日~翌年7月31日

## 2. 環境活動実施体制

平成 24 年 1 月 11 日改訂



	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境経営に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。</li> <li>② 環境経営システムの実施及び管理に必要な人材、設備、費用、時間技術等を用意する</li> <li>③ 環境管理責任者の任命</li> <li>④ 環境方針の制定・見直し及び全従業員への周知徹底を行う</li> <li>⑤ 全体の評価と見直しを行う。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>② 作成された環境への負荷及び取り組みの自己チェックの確認と承認。</li> <li>③ 環境目標、環境活動計画の作成</li> <li>④ 環境活動の実施状況の確認、環境目標の達成状況の評価する。</li> <li>⑤ 問題の是正、予防処置に対する指示と改善や見直し必要な処理を行い社長に報告する。</li> <li>⑥ 関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認</li> <li>⑦ 文書及び記録の管理保管</li> <li>⑧ 教育訓練の実施</li> </ul>
推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境活動を実行し工程会議で報告する。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境方針を理解し、環境活動への取り組みの重要性を認識する。</li> <li>② 環境目標達成に向け従業員間で協力し努力する。</li> </ul>

### 3. 環境方針

#### 環境方針

株式会社根本工務所は建設事業活動を通じて、  
掛け替えのない自然環境を次世代に引き継ぐべく  
関係法令を遵守し、継続的な環境負荷の低減に努め  
社会に貢献します。

#### 環境への行動指針

- 1、 環境関連法令を遵守します。
- 2、 環境負荷の低減を目的にし、以下の活動に計画的に取り組めます。
  - ①電力使用量及び燃料使用量を抑え、CO<sub>2</sub>排出量を削減する。
  - ②廃棄物の分別を徹底し、建設リサイクルの向上と廃棄物削減に努める。
  - ③節水を心掛け使用水量を削減する。
  - ④グリーン購入の拡大を推進する。
  - ⑤化学物質の使用量の削減及び適切な管理をする。
  - ⑥作業効率を向上させ、環境負荷を低減する。
- 3、 建設業を通して、地域に貢献する。
- 4、 環境方針は全従業員に周知徹底する。

平成 22 年 8 月 1 日 制定  
平成 26 年 12 月 17 日 改正

株式会社 根本工務所  
代表取締役 根本 敬久

#### 4. 環境目標とその実績

### 環境目標3ヶ年計画

環境方針	活動項目	単位	基準年	目標値		
				実績値		
				20年度	24年度	25年度
電力使用量及び燃料使用量を抑えCO <sub>2</sub> 排出量を削減する。	事務所・倉庫 使用電力量の削減	kwh	6,232	基準年-26%	基準年-6%	基準年-7%
				4,611	5,858	5,795
	現場用仮設電力量の 削減	kwh	48,686	基準年-4%	基準年-5%	基準年-6%
				46,738	46,251	45,764
	軽油使用量の削減	ℓ	35,569	基準年-2%	基準年-2.5%	基準年-3%
				34,857	34,679	34,501
ガソリン使用量の 削減	ℓ	6,770	基準年-19%	基準年-19.5%	基準年-20%	
			5,483	5,449	5,416	
灯油使用料の削減	ℓ	310	基準年±0%	基準年-0.5%	基準年-1%	
			310	308	306	
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg- CO <sub>2</sub>	112,698 (23年基準)	基準年-4%	基準年-6%	基準年-7%	
			108,190	105,936	104,809	
廃棄物の分別 を徹底し、 建設リサイクルの 向上と廃棄物 削減に努める。	一般廃棄物量の 削減	kg	760	基準年-23%	基準年-24%	基準年-25%
				585	577	570
産業廃棄物量の 削減	t	1,656.2	基準年±0%	基準年-0.5%	基準年-1%	
			1656.2	1647.9	1639.6	
上水購入量の 削減	節水を心掛け、使用 水量を削減する	m <sup>3</sup>	104	基準年±0%	基準年-0.5%	基準年-1%
				104	103	102
グリーン購入 の拡大を推進 する。	グリーン購入(事務用 品)の積極的購入	%	23年度の 実績値 53.5	基準年+1.5%	基準年+2%	基準年+2.5%
				55	55.5	56
その他	太陽光発電の提案 (見積り作成)	件	—	年間3件	年間1件以上	年間1件以上
				1件	1件	

☆平成24年度から平成26年度までの目標を以上の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。  
 ☆「化学物質使用量の削減」は使用が少量なので、数値目標ではなく「適正管理」を目標としています。  
 ☆「事務所・倉庫の使用電力量の削減」については24年度の目標設定が高すぎた反省を踏まえ、25年度は「-6%」と目標を設定しました。

☆CO<sub>2</sub>排出量の削減については、平成23年度を基準として今年度より新たに目標を設定しました。

☆グリーン購入の拡大は、事務用品購入総額に占めるグリーン製品の割合を数値目標にしています。

☆購入電力の排出係数は0.463kg-CO<sub>2</sub>/kwhとします。

## 5. 主要な環境活動計画の内容

当社の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の通りの活動を実施している。その達成状況や活動の実施状況を毎月環境管理責任者がフォローしております。

### 1) CO<sub>2</sub>の削減

当社のCO<sub>2</sub>排出量の削減は、電力、軽油、ガソリン、灯油の使用量の削減を目標としました。

#### 1.電力使用量の削減 (担当:総務部)

項目	期間	実地状況
・利用状況に応じてこまめにスイッチを切る。節電タップの利用。	通年	○
・エアコンの温度を適切に設定する。(暖房19℃、冷房28℃)	通年	○
・パソコンを省電力型へ転換する。	年度中	6月○
・使用しない時の消灯、パソコンの電源 OFF	通年	○

#### (担当:工務部)

項目	期間	実施状況
・現場事務所でこまめにスイッチを切る。	通年	○
・仮設電気設置期間を短くする。(工事の短縮)	通年	○

#### 2.軽油及びガソリン使用量の削減 (担当:工務部)

項目	期間	実施状況
・アイドリングストップの励行。	通年	○
・急ブレーキ、急発進をなくす。	通年	○
・車両・重機の定期的な点検により燃費向上を目指す。	通年	○
・作業に不要な荷物はその都度下す。	通年	○
・ガソリンを使用する機械の点検整備を徹底する。	通年	○
・その日の段取りや工具類を確認し、作業の手戻りや不要な車両走行をしない。	通年	○
・低燃費車への交換または購入 (ワゴン車、油圧ショベル)	年度中	9月○ 1月○

#### 3.灯油使用量の削減 (担当:総務部)

項目	期間	実施状況
・こまめに使用状況を管理する。	暖房期間	○
・暖房による室内の温めすぎに注意し、ひざ掛け等を使用する。	暖房期間	○
・扇風機の適切な使用で暖房効率を上げる。	暖房期間	○

2) 廃棄物の削減

1. 産業廃棄物の削減 (担当: 工務部)

項目	期間	実施状況
・廃棄物の分別の徹底。	通年	○
・廃棄物処理の管理の徹底。マニフェスト管理。	通年	○

2. 事務所のごみの削減。(担当: 総務部)

項目	期間	実施状況
・事務所から出るごみを分別回収して、リサイクルし、廃棄分を削減する。	通年	○
・プリンターや複合機のメンテナンスに注意し、ミスプリント等を削減する。	通年	○
・電子メールの積極的活用(不要なプリントアウトは避ける)	通年	○

3) 使用水量の削減 (担当: 工務部・総務部)

項目	期間	実施状況
・洗車用水は上水道ではなく、河川からの水を使用する。	通年	○
・洗い物は溜めてから洗う。	通年	○
・雨水タンクの利用	通年	○

4) グリーン購入の拡大 (担当: 総務部)

項目	期間	実施状況
・事務用品の購入の際はグリーン商品を選択する。	通年	○
・工事関連の消耗品も環境配慮型の製品を優先する。	通年	○

5) 化学物質使用量の削減 (担当: 社長)

項目	期間	実施状況
・化学物質の適正管理は「SDS」に基づいて行う。	通年	○

6) その他(担当: 全社員、社長)

項目	期間	実施状況
・環境維持のボランティア活動に参加する。 (道路清掃、カーブミラー清掃 等)	通年	○



## 6. 環境活動の取組結果の評価

平成25年8月～平成26年7月の、環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

\* 実績は基準年度 H20年度と比較する。(グリーン購入及び排出 CO<sub>2</sub>は H23 年度の値を基準とする。)

\* 判定評価は達成(100%以上)＝○ ほぼ達成(95%以上)＝△ 未達成(95%未満)＝×

### 1) CO<sub>2</sub>の削減

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
①事務所・倉庫の電力使用量削減	総務部 高橋敬子	6,232kwh	5,858kwh	5,430kwh	107.9%	○
	6月にPC2台を新機種(省電力型)に交換した。夏場の電力使用量が抑えられたのはエアコンと扇風機の併用により、室温管理を徹底したのが功を奏したと思う。次年度も継続して行いたい。					

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
②仮設電力使用量削減	工務部 小林茂雄	48,686kwh	46,251kwh	0kwh	—	—
	本年度は、使用量を計測する仮設電気の設置がありませんでした。					

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
軽油使用量の削減	工務部 船橋修治	35,569ℓ	34,679ℓ	12,826ℓ	270.4%	○
	通年で目標値を下回る結果となった。施工箇所や協力業者有無などの影響もあるが、エコドライブの徹底と段取りの確認による効率化が、良い結果につながった。					

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
ガソリン使用量の削減	工務部 船橋修治	6,770ℓ	5,449ℓ	7,456ℓ	73.1%	×
	軽油が減った分、ガソリン使用量が増えた。軽トラックと1月に購入したワゴン車の使用頻度高かった。運転前に不要なものを積んでいないか等確認を徹底し、削減に取り組みたい。					

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
灯油使用量の削減	総務部 西野順子	310ℓ	308ℓ	496ℓ	62.1%	×
	目標を大きく下回ってしまいました。①現場事務所での使用量が多かった。②残業時などはエアコンよりもストーブを使っていた。等が理由として考えられます。次年度はこれらを反省点として取り組みます。					

取組項目	推進担当	H23年度基準値	目標	結果	達成率	判定
Co <sub>2</sub> 排出量の削減	社長 根本 敬久	112,698 kg-Co <sub>2</sub>	105,936	50,917	208.1%	○
	今年度から新しく加えたが、目標よりもかなり良い結果となった。軽油と仮設電気の結果が大きいと思われる。次年度の現場状況にもよるが、この好成績を維持できるよう取り組みたい。					

2) 使用水量の削減

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
上水購入量の削減	工 事 部 宇 野 晴 彦	104m <sup>3</sup>	103m <sup>3</sup>	105m <sup>3</sup>	98.1%	△
	洗車の泥落としには川水や雨水を使用している。他に何ができるか考えたい。					

3) 廃棄物の分別の徹底と削減

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
一般廃棄物の削減	社 長 根 本 敬 久	760kg	577kg	570kg	101.2%	○
	分別を徹底している。シュレッダー使用は必要最低限とし、梱包段ボール、包装紙などの紙類もまとめ定期的に業者に引き取りをお願いしている。					

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
産業廃棄物の削減	工 事 部 大 沼 正 己	1656.2t	1647.9t	1590.1t	103.6%	○
	産業廃棄物は分別を徹底しており、適切処理をしている。現場内や資材置き場でも鉄くず等を回収し業者に引き取ってもらった。					

4) グリーン購入の拡大

取組項目	推進担当	H23 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
グリーン購入の拡大	総 務 部 西 野 順 子	53.5%	55.5%	69.1%	124.5%	○
	事務用品はカタログで対象商品を確認して、購入するようにしています。現場用消耗品等についても、少しずつ導入しています。					

5) 化学物質使用量の削減

取組項目	推進担当	平成25年8月～平成26年7月の取り組み状況				判定
化学物質の適正管理	社 長 根 本 敬 久	作業取扱上の注意、廃棄上の注意を SDS に基づいて管理を行っている。				○

6) その他

取組項目	推進担当	H20 年度基準値	目標	結果	達成率	判定
太陽光発電の提案(見積り)	社 長 根 本 敬 久		1件	1件	100%	○
	1件の問い合わせに対して提案を行った。					

取組項目	推進担当	平成25年8月～平成26年7月の取り組み状況				判定
環境ボランティア	全 社	道路清掃、カーブミラー清掃への参加。 また、現場付近の清掃も行った。				○

7. 次年度の目標と取り組み内容

環境方針	活動項目	取組内容	推進担当	目標値	
電力使用量及び燃料使用量を抑えCO <sub>2</sub> 排出量を削減する	電力使用量の削減	・適切な室温管理 ・不要な照明器具の消灯 ・省電力型 OA 機器、照明への随時転換	総務部・高橋	5,795 kwh	基準年比 7%減
		・現場事務所での電気使用管理 (スイッチ off) ・仮設電気設置期間(工期の短縮)	工事部・小林	45,764 kwh	基準年比 6%減
	軽油使用量の削減	・エコドライブの徹底 (ふんわりアクセル、アイドリングストップ)	工事部・船橋	34,501 ℓ	基準年 3%減
	ガソリン使用量の削減	・日常点検・整備の徹底 ・業務の効率化(段取り重視) ・不要な荷物は荷台から下す。	工事部・船橋	5,416 ℓ	基準年比 20%減
	灯油使用量の削減	・適切な室温管理 ・暖房器具の整備点検	総務部・西野	306ℓ	基準年比 1%減
	CO <sub>2</sub> 排出削減	・上記の活動の推進	社長根本	104,809 kg-CO <sub>2</sub>	基準年比 7%減
使用水量の削減	上水購入量の削減	・洗車は川水を使う。 ・「流しっぱなし」はしない。 ・雨水タンクの積極的利用	工事部・宇野	102m <sup>3</sup>	基準年比 1%減
廃棄物の分別徹底と削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底 ・再利用を心掛ける(裏紙、封筒等)	社長・根本	570kg	基準年比 25%減
	産業廃棄物の削減	・分別の徹底→有価物量の増加を目指す。	工事部・大沼	1,639.6 t	基準年比 1%減
グリーン購入の拡大	グリーン購入の拡大	・事務用品についてはグリーン購入の徹底。 ・社内での再生、再利用を考える。 ・現場用消耗品についても、可能な限り環境配慮型商品を購入する。	総務部・西野	56%	基準年比 2.5%増
化学物質使用量の削減	化学物質使用量の削減	・化学物質の取り扱い管理を徹底する (SDS)。	社長・根本	適正管理	—
その他	環境活動他	・環境配慮型商品の提案(太陽光発電) ・環境維持のボランティアに参加する。 ・うっかりミスを無くす。 → 材料・燃料・時間のロスを削減	社長・根本	見積り 1件以上	—
		・環境に良い情報を発信する。 →ホームページの活用	全社	—	—

## 8. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規違反はありませんでした。同様に関係機関からの指摘及び訴訟等も過去 3 年間ありませんでした。

2) 遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	遵守事項	確認書類等	評価
騒音規制法	・特定建設作業の県知事への届け出 ・作業敷地境界での規制値以下を遵守	該当工事なし	—
振動規制法	・特定建設作業の県知事への届け出 ・作業敷地境界での規制値以下を遵守	該当工事なし	—
廃棄物処理法	・委託契約 ・マニフェスト交付、管理、年度報告等	委託契約書 マニフェスト	○
建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化 ・再生資源の利用	施工計画書	○
再生資源利用省令	・再生資源利用計画の作成 ・再生資源利用計画実施記録の作成	施工計画書	○
指定副産物利用促進省令	・再生資源利用計画の作成 ・再生資源利用計画実施記録の作成	施工計画書	○
消防法	灯油の少量保管(200ℓ以下)	保管量確認	○
茨城県環境基本条例	・産業廃棄物の適正な処理、必要な措置 ・環境への負荷の低減に資する原材料の利用 ・製品使用、または廃棄による県境への負荷の低減	施工計画書	○
常陸太田市 廃棄物の処理の適正化に関する条例	一般廃棄物の処理方法の遵守 (資源ごみ細分化の徹底)	廃棄時の 目視確認	○
自動車リサイクル法	新車購入時のリサイクル料金の納付	自動車リサイクル券	○
労働安全衛生法	化学物質の適正管理(SDSの取り寄せ)	SDS	○
化管法(PRTR法)	該当物質の量的管理	半期の在庫管理	○

## 9. 代表者による全体の評価と見直し

見直し項目	評価	見直しの必要性
環境方針 環境への行動指針	朝礼等で確認し、定着している。	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境目標と取り組み	数値目標に「CO <sub>2</sub> 排出量の削減」を加えて活動した。 「軽油」と「ガソリン」の使用量は現場の遠近や施工内容に左右される部分が大いだが、取組の効果がみられる。	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営システム	現在の手順書で問題なし。	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
総括	毎朝の洗車や朝礼を通して、環境への意識が根付いてきた。車両や工具等の扱いも丁寧になった。エコドライブ根付いてきた。 今後も気持ちを引き締めて、次年度に取り組みたい。	